



報道発表資料

2001年7月18日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、BtoB サーバー「Asteria for RosettaNet」の 新ラインアップを8月1日より提供開始

～ ミッドレンジ向けの新たな提供形態の追加により、さまざまな企業の BtoB 導入を促進 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎）は、XML ネイティブの BtoB(企業間電子商取引)サーバー「Asteria for RosettaNet*1(アステリア フォー ロゼッタネット)」に、ミッドレンジ向けの新たなラインアップを追加し、2001年8月1日より提供開始することを発表しました。

このたび新たに追加する「Asteria for RosettaNet」は、RosettaNet プラグインと2ヶ所までの接続ライセンスを含めた『基本ライセンス』を800万円とし、Solaris および Linux プラットフォーム向けのソフトウェアとして提供します。同時に、取引先数の増加に応じてライセンスを追加する『追加10接続ライセンス』を400万円で提供し、さまざまな導入パターンに対応した購入を実現します。また、取引先数に制限を設けない『追加無制限ライセンス』は、1,600万円で提供します。

新しいラインアップの追加により、従来より提供している95万円からのエントリー・レベル・ソリューションと、2,400万円からのハイエンド・ソリューションに加え、その中間層のソリューションを提供します。このラインアップの追加により、ユーザー企業は取引の規模や段階により適応した「Asteria for RosettaNet」を選択できるようになります。これにより、RosettaNet の導入初期段階における負担が最適化され、ユーザーの導入スケジュールに合わせた拡張が可能となります。インフォテリアは、幅広いラインアップの「Asteria for RosettaNet」の提供により、BtoB*2のさらなる活性化に貢献していきます。

「Asteria for RosettaNet」について

「Asteria」は、インターネットを介したサーバー対サーバーでのデータの入出力、データ形式の変換、ビジネストランザクションの管理など、BtoBに必要な機能に最適化された強固なアーキテクチャを有する、XML ネイティブの本格的な BtoB サーバーです。「Asteria for RosettaNet」は、この「Asteria」ソフトウェアに RosettaNet ビジネスプロトコルを組み込んだ製品で、異なるシステムを持った取引先との間で RosettaNet による企業間システム連携を実現します。

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998年、日本初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたXML 分野のリーディングカンパニーです。東京と米ボストンに拠点を置き、世界市場に向けてXML 製品の開発と販売を行っています。インフォテリアでは、先進のXML テクノロジーをベースにXML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引 (BtoB-EC) および企業間アプリケーション統合をXML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

#

<用語説明 / 注釈>

*1 RosettaNet (ロゼッタネット)	ハイテク業界で、半導体、電子部品から製品に至るまでのサプライチェーンを標準化するために組織されたコンソーシアムとその仕様。国内では、ソニー、NECを始め100社以上の賛同企業が推進している。 RosettaNet http://www.rosettanet.org/ ロゼッタネットジャパン http://www.rosettanet.gr.jp/
*2 BtoB (ビートゥービー)	Business To Businessの略。企業間電子商取引の一般的呼称で、最近ではインターネットベースの企業間取引を特に指してB2Bと呼ぶことが多い。より多くの取引先を一元的に扱いたい反面、いずれか一方のシステムやソフトウェアに統一できないため、XMLをベースとした緩やかなデータ交換・システム連携が主流となる。

<お問い合わせ先>

info@infoteria.co.jp

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/>

(ウェブサイト)

以上